
平成28年度
全国学力・学習状況調査
結果報告書

- 概要 -



旭川市教育委員会

〔目 次〕

1	はじめに	… 1
2	調査の概要	… 2
	(1) 調査の目的	
	(2) 調査の対象	
	(3) 調査の内容	
	①教科に関する調査	
	②質問紙調査	
	(4) 調査日	
	(5) 調査に参加した学校数, 児童・生徒数	
3	教科に関する調査結果の概要	… 3
	(1) 小学校各教科	
	(2) 中学校各教科	… 4
	(3) 小学校国語A	… 5
	(4) 小学校国語B	… 6
	(5) 小学校算数A	… 7
	(6) 小学校算数B	… 8
	(7) 中学校国語A	… 9
	(8) 中学校国語B	…10
	(9) 中学校数学A	…11
	(10) 中学校数学B	…12
4	学習習慣・生活習慣の概要	…13
	(1) 質問項目の分類の考え方	
	(2) 分析の観点とクロス集計	
	(3) 旭川の子どもたちの概況	…14
	(4) 小学校	…15
	①「授業改善」について	
	②「落ち着いた学習環境づくり」について	…16
	③「望ましい習慣づくり」について	
	④「メディアとの接触時間」について	…17
	(5) 中学校	…18
	①「授業改善」について	
	②「落ち着いた学習環境づくり」について	…19
	③「望ましい習慣づくり」について	
	④「メディアとの接触時間」について	…20
5	おわりに	…21

1 はじめに

全国学力・学習状況調査は、文部科学省により、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る」等を目的に、平成19年度から実施されています。

本調査の実施要領には、調査結果の取扱いに関する配慮事項として、調査結果については、「自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげる」こと、また、調査結果の公表に関しては、「教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要である」と示されています。

旭川市教育委員会では、全国学力・学習状況調査結果について、一つ一つの設問や質問項目の詳細な分析を行い、成果や課題を明らかにして、各学校の指導や取組の充実に資する改善策等を示すことにより、本市の児童生徒一人一人の学力向上を図ることが大切であると考えています。

このような考えのもと、本報告書は、旭川市の重点的な学力向上策である「授業改善」、「落ち着いた学習環境づくり」、「望ましい習慣づくり」と関連付けて整理するとともに、調査結果及び成果や課題を示した「概要」と、結果分析から浮かび上がった課題に対する改善策を示した「指導の改善策」で構成しました。教科に関する調査については、設問ごとの正答率や無解答率等から成果と課題を分析し改善策として授業プランをまとめ、児童生徒質問紙調査については、肯定的な回答の割合や経年比較等から分析し改善策をまとめました。

なお、本調査の実施要領における調査結果の取扱いに関する配慮事項には、「調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である」とも示されており、これらのことにも配慮し作成しました。

本報告書は、本調査の当該児童生徒の市内全体の傾向をまとめたもので、全ての児童生徒、学校に当てはまるものとは限りませんが、本報告書を学校や家庭での生活及び学習の改善のために御活用いただくことを期待しています。

2 調査の概要

(1) 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象

- 小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒

(3) 調査の内容

① 教科に関する調査

小学校：国語A・B，算数A・B

中学校：国語A・B，数学A・B

A問題（主として「知識」に関する問題）

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など。

B問題（主として「活用」に関する問題）

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など。

② 質問紙調査

児童・生徒質問紙：学習意欲や学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する調査

学校質問紙：指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

(4) 調査日

平成28年4月19日（火）

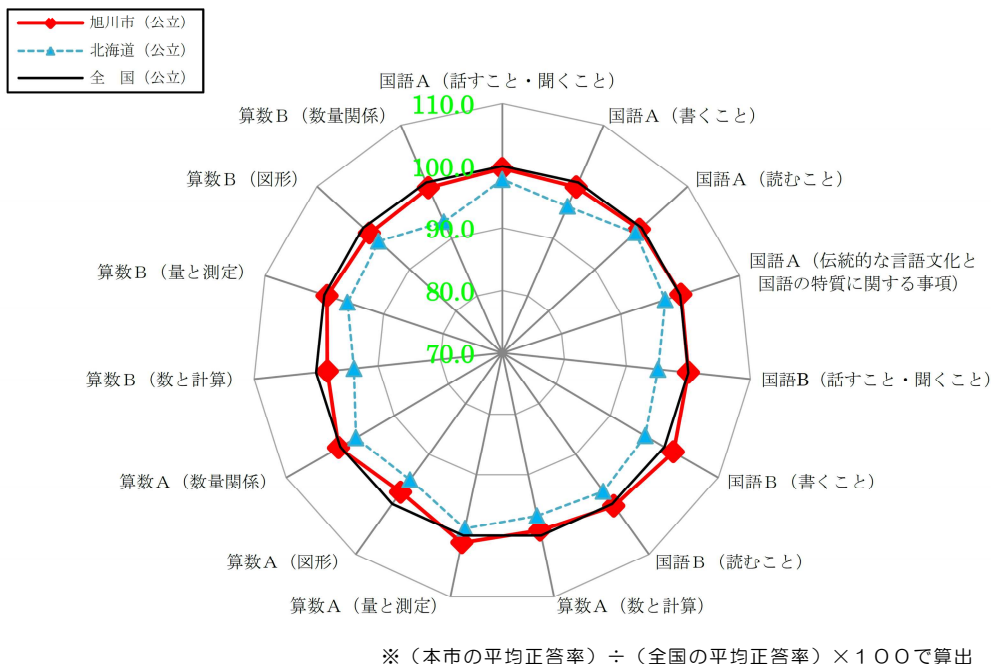
(5) 調査に参加した学校数，児童・生徒数

校 種	学校数	人 数
小学校	52校	2,541人
中学校	27校	2,657人

※児童・生徒数は、教科に関する調査及び質問紙調査のうち、回収した解答（回答）用紙が最も多かったもの

3 教科に関する調査結果の概要

(1) 小学校各教科

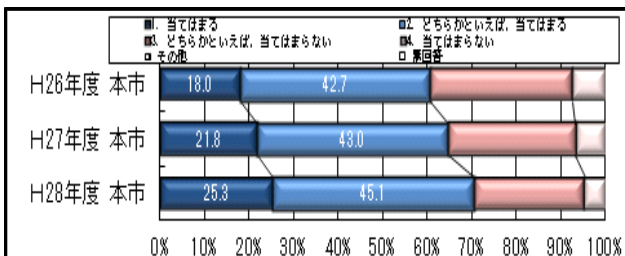


○国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは、「書くこと」、「読むこと」、算数Aでは、「量と測定」、「数量関係」の領域等を得意としている。

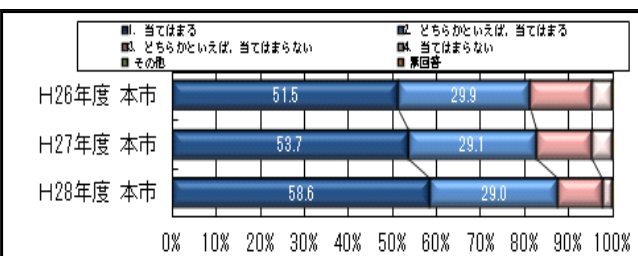
●算数Aでは、「図形」、算数Bでは、「数と計算」、「図形」の領域を苦手としている。

<国語・算数の授業に関わる児童質問紙調査結果>

○国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。



○算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

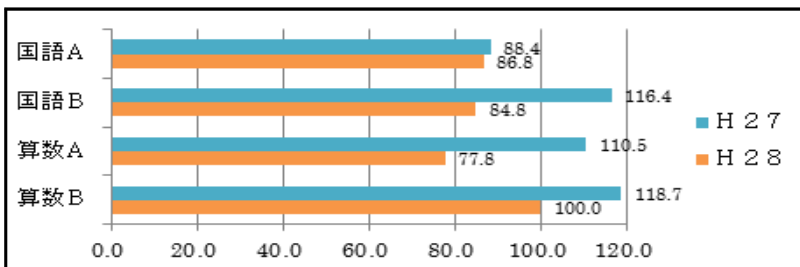


○国語では、授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている児童が増加傾向にある。

○算数では、授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている児童が増加傾向にある。

学習習慣・生活習慣の詳細については「指導の改善策」P99へ

<無解答率の状況>

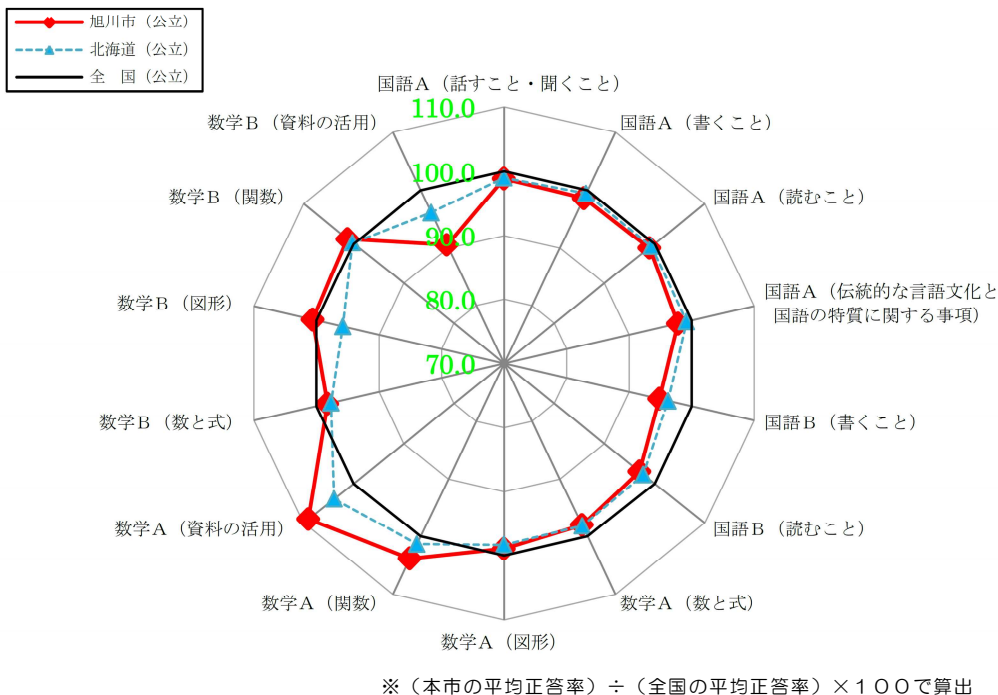


※（本市の各設問の無解答率の平均）÷（全国の各設問の無解答率の平均）×100で算出

・平成28年度は、国語A・B、算数Aで無解答率が低い。

・昨年度と比較すると、国語B、算数A・Bで無解答率が低く、改善傾向が見られる。

(2) 中学校各教科

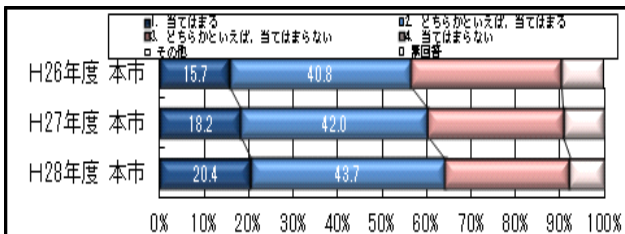


○数学Aでは、「関数」、「資料の活用」、数学Bでは、「図形」、「関数」の領域を得意としている。

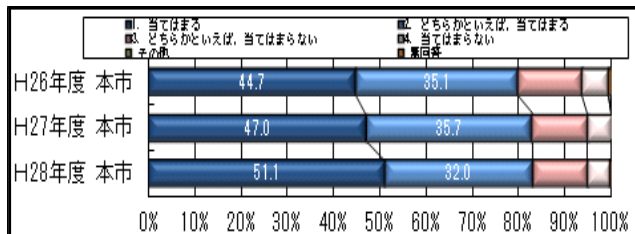
●国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは、「書くこと」、数学Bでは、「資料の活用」の領域等を苦手としている。

<国語・数学の授業に関わる生徒質問紙調査結果>

○国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。



○数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

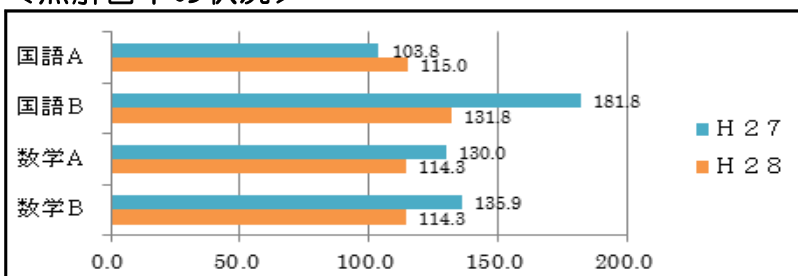


○国語では、授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている生徒が増加傾向にある。

○数学では、授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている生徒が増加傾向にある。

学習習慣・生活習慣の詳細については「指導の改善策」P99へ

<無解答率の状況>



※（本市の各設問の無解答率の平均）÷（全国の各設問の無解答率の平均）×100で算出

・平成28年度は、全ての教科で無解答率がやや高い。

・昨年度と比較すると、国語B、数学A・Bで無解答率が低く、改善傾向が見られる。

(3) 小学校国語A

◇相当数の児童ができている点

- 1 学年別配当表に示されている漢字を正しく読む『快晴』『貯金』『省く』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
- 1 二 1 学年別配当表に示されている漢字を正しく書く『種』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
- 5 目的に応じて、図と表を関係付けて読む【読むこと】
- 7 アイ 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

相当数の児童が できている問題例

- ⑤ 目的に応じて、図と表を関係付けて読む【読むこと】

正答率
93.4%

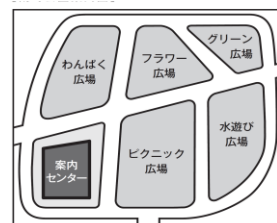
山田さんは、学校の遠足で南町公園に行くときにグループで活動する広場を決めようとしています。

【南町公園案内図】と【パンフレットの一部分】を読んで、【山田さんのグループの希望】に最も合う広場を選択肢から選びましょう。

山田さんのグループの希望
ボール遊びができて、お弁当を食べることのできる広場に行きたい。できるだけ近いところがいいね。

広場	広場の説明	飲食	ボール使用
わんぱく広場	小さい子ども向けの遊び場です。小学生以上は遊べません。	○	○
フラワー広場	花畑があり、季節の花を楽しむことができます。	×	×
グリーン広場	段ボールなどですべり降りることができる芝生の斜面があります。	○	○
ピクニック広場	眺めがよく、公園の中で一番広い広場です。	○	○
水遊び広場	噴水があります。夏には、水遊びができます。	○	×

パンフレットの一部分



南町公園案内図

<正答の条件>

・「ピクニック広場」を選択している。

◆課題のある点

- 3 書き手の表現の仕方をより良くするために助言する【書くこと】
- 6 登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える【読むこと】
- 8 2, 3 平仮名で表記されたものをローマ字で書く。ローマ字で表記されたものを正しく読む。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

課題の ある問題例

- ⑧2, 3 平仮名で表記されたものをローマ字で書く。ローマ字で表記されたものを正しく読む【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

正答率
2 39.6%
3 45.7%

- 2 次の言葉をローマ字で書きましょう。

あさって →

- 3 次のローマ字を平仮名で書きましょう。

hyaku →

<正答の条件>

- ・2は、 asatte と表記する。
- ・3は、 ひゃく と表記する。

<多く見られた誤答例>

- ・2 asate asaate assate と表記しており、促音の表記について正しく理解していない。
- ・3 はやく やく と表記しており、「く」については相当数の児童が書くことができていたが、拗音を含んだ読みについて正しく理解していない。

<無解答率>

- ・2 11.4%であり、A問題の中で2番目に高い。
- ・3 19.9%であり、A問題の中で最も高い。

9年間の視点

<小学校で身に付けさせたい力>

- ・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で書いたり、ローマ字を読んだりすることができる。(小3)

<中学校へのつながり>

※外国語科の学習に使用します。

本課題の改善策については、
「指導の改善策」 P15へ

(5) 小学校算数A

◇相当数の児童ができている点

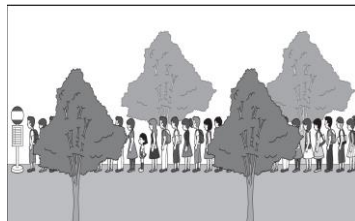
- 1 (3) 商の確かめの方法を理解する【数と計算】 2 (1)(4) $905-8$ や $(2/9) \times 3$ を計算する【数と計算】
 3 (1) 不等号の意味を理解する【数と計算】 5 三角形の底辺と高さの関係を理解する【量と測定】
 9 (1) 示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める【数と計算】

相当数の児童が できている問題例

9 (1) 示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める【数と計算】

正答率
80.5%

バスに乗る人が、バス停に一列に並んで待っています。さゆりさんの前に10人、後ろに19人います。バス停に並んでいる人数は全部で何人ですか。求める式と答えを書きましょう。



<正答の条件>

- 問題に示された「10」、「19」及び、さゆりさん本人を示す「1」を用いたことが分かる式を立式する。
 (例) $10+1+19$
- 答えを「30」と解答する。

◆課題のある点

- 3 (2) 「7.1」、「7」、「7.01」の大小関係を理解する【数と計算】
 7 直方体における面と面の位置関係を理解する【図形】
 9 (2) 1を越える割合を百分率で表す場面において、基準量(もとにする量)と比較量(比べられる量)の関係を理解する【数量関係】

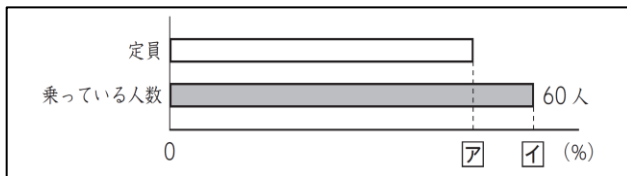
課題の ある問題例

9 (2) 1を越える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解する【数量関係】

正答率
49.5%

バスに乗っている人数は60人です。乗っている人数は、定員よりも定員の20%多いそうです。

定員をもとにしたときの乗っている人数の割合を、百分率を使った次の図に表します。



図の中のアとイには、下の4つの数のいずれかが入ります。アとイに入る数をそれぞれ書きましょう。

20 80 100 120

<正答の条件>

- アを「100」、イを「120」と解答する。

<多く見られた誤答例>

- アを「80」、イを「100」とし、乗っている人数を基準量として、定員は乗っている人数の80%であると捉えている。

<無解答率>

- 5.8%であり、A問題の中で最も高い問題である。

9年間の視点

<小学校で身に付けさせたい力>

- 2本の数直線の書き方や意味を理解する。(小3)
- 倍の考え方を理解する。(小4)
- 小数をかけたときの積の大きさを理解する。(小5)

<中学校へのつながり>

- 数量の関係を文字式に表す。(中1)

本課題の改善策については、
「指導の改善策」 P57へ

(6) 小学校算数B

◇相当数の児童ができている点

- 1 (1) 示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを理解する【数と計算】【量と測定】
- 3 (3) 正方形に円が内接するときの円の半径について理解する【図形】
- 4 (2) 示された2つの表だけでは判断できない事柄を理解する【数量関係】

相当数の児童が できている問題例

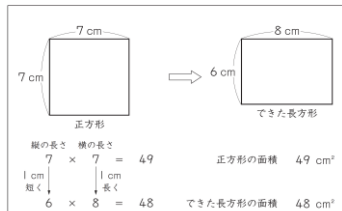
- 1 (1) 示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを理解する【数と計算】【量と測定】

正答率
93.5%

1 辺が7cmの正方形について次のように話しています。

先生 正方形の縦の長さを1cm短くし、横の長さを1cm長くすると、面積はどうなりますか。

よし子さんは、下のように計算しました。



面積は、もとの正方形の面積より 1 cm^2 小さくなりました。

よし子

- (1) よし子さんは、1 辺が8cmや9cmの正方形でも、縦を1cm短くし、横を1cm長くすると、面積が 1 cm^2 小さくなることを下のように調べました。
⑦⑧⑨に入る数を書きましょう。

1 辺が8cmのとき		
$8 \times 8 = 64$	正方形の面積	64 cm^2
$7 \times 9 = 63$	できた長方形の面積	63 cm^2
1 辺が9cmのとき		
$9 \times 9 = 81$	正方形の面積	81 cm^2
$8 \times 10 = 80$	できた長方形の面積	80 cm^2



1 辺が8cmや9cmの正方形の場合でも、7cmのときと同じように、面積は 1 cm^2 小さくなりました。

よし子

<正答の条件>

- ・アを「8」、イを「10」とし、ウを「80」と解答する。
- ・アを「10」、イを「8」とし、ウを「80」と解答する。

◆課題のある点

- 2 (3) 40mハードル走の目標のタイムを求める式の中の数値が表す意味を理解する【数と計算】
- 3 (2) 示された長方形の厚紙から、1 辺9cmの正方形を24個切り取ることができる理由を説明する【数と計算】
- 4 (1) 1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を理解する【量と測定】【数量関係】
- 5 (1) 示された除法の式を、三角形を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味を説明する【全領域】
- 5 (2) 示された四角形を6つ並べてできる図形を理解する【量と測定】【図形】

課題の ある問題例

- 4 (1) 1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を理解する【量と測定】【数量関係】

正答率
48.6%

A小学校とB小学校の図書委員会は、協力して読書活動をすすめています。

次の資料は、4月から7月までの4か月間の、各学校の本の貸出冊数の様子をまとめたものです。

4月から7月までの4か月間の 各学校の 本の貸出冊数の様子

表1「各学校の月ごとの貸出冊数(冊)」					
学校	4月	5月	6月	7月	合計
A小学校	986	2918	3414	2420	9738
B小学校	849	2523	2938	2095	8405

表2「A小学校の本の種類ごとの貸出冊数(冊)」

物語	科学	歴史	伝記	その他	合計
3800	1977	1496	989	1476	9738

A小学校の図書委員たちは、上の表の囲みの部分を見て、次のように話し合っています。



けんた

どちらの学校の子どものほうが本をよく借りているかな。



まこと

各学校の貸出冊数の合計で比べると、A小学校のほうが多いです。だから、A小学校だと思います。



私は、どちらの学校の子どものほうが本をよく借りているかを、各学校の1人あたりの貸出冊数で比べたいです。

1人あたりの貸出冊数を求めるためには、各学校の貸出冊数の合計のほかに、何を調べたらよいか。

- (1) あきさんのように各学校一人あたりの貸出冊数を求めるためには、表の囲みの各学校の貸出冊数の合計のほかに、どのような数が必要ですか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 各学校の、図書館を利用した人数
- 2 各学校の、学校全体の児童の人数
- 3 各学校の、図書館にある本の冊数
- 4 各学校の、本の種類ごとの貸出冊数

<正答の条件>

- ・「2」と解答する。

<多く見られた誤答例>

- ・「1」と解答し、一人あたりの貸出冊数は貸出冊数の合計のほかに、人数が必要であると捉えているが、学校全体の人数とは捉えていない。

9年間の視点

<小学校で身に付けさせたい力>

- ・表の中の合計欄の意味や数値の意味を理解する。(小3)
- ・単位量あたりの大きさの意味を理解する。(小5)

<中学校へのつながり>

- ・資料を表やグラフに整理し、資料の傾向を読み取る。(中1)

本課題の改善策については、「指導の改善策」 P61へ

(7) 中学校国語A

◇相当数の生徒ができている点

- ③一 文脈の中における語句の意味を理解する【読むこと】
- ③二 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する【読むこと】
- ⑤一 相手や場に応じた言葉遣いなどに気を付けて話す【話すこと・聞くこと】
- ⑤二 全体と部分との関係に注意して話を構成する【話すこと・聞くこと】
- ⑧一 奥付の特徴や役割を理解する【読むこと】
- ⑨一 1, 3 文脈に即して漢字を正しく書く『研究』『植える』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
- ⑨二 文脈に即して漢字を正しく読む『封筒』『報われた』『敬う』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
- ⑨三ア, イ, エ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う『合間を縫って』『もちろん分かっています』『先生にお届けします』【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】
- ⑨七2 歌に表れた作者の思いを想像する【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

相当数の生徒が できている問題例

- ⑨七2 歌に表れた作者の思いを想像する【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

正答率
93.0%

童謡「ふるさと」の歌詞の一部における波線部「忘れがたき」の意味として、最も適切なものを選択肢から選びましょう。

- 1 忘れたい
- 2 忘れられない
- 3 忘れてしまった
- 4 忘れそうな

うさぎ追ひし
かの山
小ぶな釣りし
夢は川
めぐるも
忘れがたき
ふるさと

<正答の条件>

- ・選択肢2「忘れられない」を選択している。

◆課題のある点

- ⑨一2 文脈に即して正しい漢字を書く（独創）【伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項】
- ⑨三ウ, オ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う（手塩にかけて）（白羽の矢が立つ）【伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項】
- ⑨四ア 辞典を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える（「賛美」の「美」）【伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項】
- ⑨五 文の成分の照応について理解する【伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項】
- ⑨六 文字の形や大きさ、配列に注意して書く【伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項】

課題の ある問題例

- ⑨四ア 辞典を活用し、漢字が表している意味を正しく捉える（「賛美」の「美」）【伝統的な言語文化と国語の特質に関わる事項】

正答率
58.4%

「賛美」の「美」の意味として最も適切なものを、【漢和辞典】の「意味」の①から④までの中から選びましょう。

【漢和辞典】

羊 3

【美】 9画 常用 (3年)

訓 ビ 褒ミ ④

うつくしい

筆順

一 二 三 四 五 六 七 八 九

美

なり

【意味】

① うつくしい。うるわしい。【麗】

② うまい。おいしい。【食】

③ ほめる。【褒ービョウ】

④ よい。立派である。【徳】

会意。羊と大とを組み合わせ、形のよい大きなヒツジを表した字。

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、国語辞典を利用して調べる方法を理解する。(小3)
- ・表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、漢字辞典を利用して調べる方法を理解する。(小4)

<中学校で身に付けたい力>

- ・新しく出会った言葉について、辞書にある様々な意味から文脈上の意味を考える。(中1)

<正答の条件>

- ・③「ほめる」を選択している。

<多く見られた誤答例>

- ・④「よい。立派である。」を選択している。

本課題の改善策については、
「指導の改善策」 P14へ

(8) 中学校国語B

◇相当数の生徒ができている点

- 1一 文章の中心的部分と付加的な部分とを読み分け、要旨を捉える【読むこと】
- 1二 目的に応じて必要な情報を読み取る【読むこと】

相当数の生徒が できている問題例

- 1二 目的に応じて必要な情報を読み取る【読むこと】

正答率
81.5%

【博物館のちらし(裏)】
にある関連イベント「～職
人の技を見てみよう～」に
参加することができる日付
として、最も適切なものを
選択肢から選びましょう。

- 1 2016年5月21日
- 2 2016年5月22日
- 3 2016年5月23日
- 4 2016年5月24日

【博物館のちらし(裏)】の一部

～職人の技を見てみよう～
この道30年の職人による漆塗りの
実演を見ることができます。交流す
る時間もありますので、伝統を受け
継ぐ職人としての思いなどを直接聞
いてみませんか。

日時：開催期間中の日曜日
午前10時～午前11時
場所：1階ホール
定員：50名(無料・当日受付)

暮らしの中の 伝統文化展



2016年 5.21(土)～6.19(日)

開催時間：午前9時30分～午後5時
休館日：月曜日
入館料：一般300円・大学生・高校生200円

<正答の条件>

- ・選択肢2「2016年5月22日」を選択している。

◆課題のある点

- 2三 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考える【書くこと】【読むこと】
- 3三 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く【書くこと】【読むこと】

課題の ある問題例

- 3三 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く【書くこと】【読むこと】

正答率
51.6%

新美南吉「おじいさんのランプ」
のうち、設問で指定された部分の記
述について、【図鑑の説明】を読む
ことでよく分かるようになった部
分と、その部分についてどのよう
なことが分かったのかを、次の
<条件>に合わせて書きましょう。

<条件>

- 1 設問で指定された部分の中
のどの部分についてよく分か
るようになったかを明確にし
て書くこと。
- 2 条件1で取り上げた部分に
ついて、どのようなことが分
かったのかを【図鑑の説明】
の内容に触れて書くこと。

【図鑑の説明】

石油ランプ



- 使い方●
- ① 油つぼに石油を入れる。
 - ② ほやを口金から持ち上げて、芯に火をつける。
 - ③ 調整ねじで芯の長さを変え、明るさを調節する。
 - ④ ほやが黒く汚れたら、口金から外して内側を磨く。

部屋の主な明かりの発達

行灯
(江戸時代)
油を入れた皿に芯を
浸し、火をつけて使う。

石油ランプ
(明治時代から昭和初期)
行灯より明るい
が、部屋全体を照らす
ほどではない。

白熱電球
(明治時代中期から現在)
明かりが揺れたり消
えたりせず、部屋全
体を照らす。

蛍光灯
(昭和から現在)
白熱電球より明る
い。消費電力が少な
く長持ちする。

<無解答率>

- ・29.7%であり、A問題の中で最も高い。

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・引用したり、図表を用いたりして、自分の考えが伝わるように書く。(小5、6)

<中学校で身に付けさせたい力>

- ・伝えたい事実や事柄について、自分の考えが明確に伝わるよう、資料から根拠を示して書く。(中1)

<正答の条件>

- ・2つの条件を満たして記述している。

<多く見られた誤答例>

- ・どの部分について分かるようになったかを明確にして書いていない。
- ・指定された部分と【図鑑の説明】を関連付けて書いていない。

本課題の改善策については、
「指導の改善策」 P12へ

(9) 中学校数学A

◇相当数の生徒ができている点

- 1 (3) $-3 + (-7)$ を計算する【数と計算】
 2 (2) $(2x + 5y) + 3(x - 2y)$ を計算する【数と計算】
 3 (4) $2x + y = x - y = 3$ から、 x と y の値を求めるための連立方程式を立てる【数と計算】
 4 (1) 垂線の作図の方法を理解する【図形】
 9 (1) 比例の関係を表す表を完成する【関数】
 9 (2) 比例の式について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求める【関数】
 10 (2) 一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合が一定で a の値に等しいことを理解する【関数】
 12 (1) 資料を整理した表から、最頻値（最も多く出てくる値）を読み取る【資料の活用】
 12 (2) 測定値が与えられた場面において、近似値（真の値に近い値）と誤差の意味を理解する【資料の活用】

相当数の生徒が できている問題例

3 (4) $2x + y = x - y = 3$ から、 x と y の値を求めるための連立方程式を立てる【数と計算】

正答率
86.8%

$$2x + y = x - y = 3$$

この方程式から、 x と y の値を求めるために、2つの二元一次方程式をつくります。下の に当てはまる式を書いて、連立方程式を完成しなさい。

$$\begin{cases} 2x + y = 3 \\ \end{cases}$$

<正答の条件>

- ・「 $x - y = 3$ 」または「 $2x + y = x - y$ 」と解答する。
- ・上記以外で、連立方程式の解が $x = 2$ 、 $y = -1$ となるような方程式を解答する。

◆課題のある点

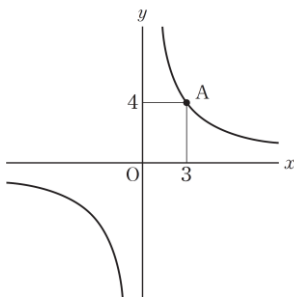
- 2 (1) 数量の関係を文字式に表す【数と計算】
 3 (2) 一次方程式の解の意味を理解する【数と計算】
 5 (1) 三角柱において、辺と辺がねじれの位置にあることを理解する【図形】
 5 (4) 円錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい円柱の体積の $1/3$ であることを理解する【図形】
 9 (4) 反比例のグラフ上の点の座標から、 x と y の関係を式で表す【関数】
 10 (3) 1次関数のグラフから、 x の変域（文字のとりうる値の範囲）に対応する y の変域を求める【関数】
 11 具体的な事象における一次関数の関係を式で表す【関数】

課題の ある問題例

9 (4) 反比例のグラフ上の点の座標から、 x と y の関係を式で表す【関数】

正答率
35.3%

右の図は、反比例のグラフで、点A (3, 4) を通ります。このとき、 y を x の式で表しなさい。



<正答の条件>

- ・「 $(y =) 12/x$ 」と解答する。

<多く見られた誤答例>

- ・「 $(y =) 4/3x$ 」や、「 $(y =) 4/3$ 」など、反比例が分数で表されることから、点A (3, 4) の3と4を分数で表した式で答えている。
- ・ $y = ax + b$ の a と b に点A (3, 4) の3と4を当てはめて「 $(y =) 3x + 4$ 」と解答するなど、一次関数の式で答えている。

<無解答率>

- ・18.4%であり、A問題の中で3番目に高い。

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・反比例の式やグラフの特徴を理解する。(小6)

<中学校で身に付けさせたい力>

- ・反比例の式と比例定数について理解する。(中1)
- ・反比例や一次関数のグラフについて理解する。(中1, 中2)
- ・示されたグラフ上の点の座標から立式する。(中1～3)

本課題の改善策については、
「指導の改善策」 P68へ

(10) 中学校数学B

◇相当数の生徒ができている点

- 1 (1) 全3試合の全体の時間が決まっており、1試合の時間を決めたときの試合間の休憩時間を求める【数と計算】
 6 (1) 数当てゲームの示された手順通りに計算することで、数を求める【数と計算】

相当数の生徒が できている問題例

- 6 (1) 数当てゲームの示された手順通りに計算することで、数を求める【数と計算】

正答率
74.0%

美咲さんは、数当てゲームを行うために、右の手順を考えました。
 この数当てゲームは、手順通りに求めた数(⑤の計算結果)を教えてもらい、その数から、最初に決めた数(①で決めた数)を当てる遊びです。
 最初に決めた数が5のとき、手順通りに求めた数を書きなさい。

手順

- ① 最初に数を1つ決める。
- ② ①で決めた数に10をかける。
- ③ ②の数から8をひく。
- ④ ③の数を2でわる。
- ⑤ ④の数に14をたす。

<正答の条件>

- ・「35」と解答する。

◆課題のある点

- 2 (2) $x = 4$ のとき $y = 9$ となるように、加えるべき条件を判断し、その理由を説明する【関数】
 3 (3) A車とB車の2台の総費用が等しくなる使用年数を求める方法について、式やグラフを用いて説明する【関数】
 4 (2) 辺の長さの比が1:2になるとい条件が付加されたとき、どのような三角形になるかを説明する【図形】
 5 (1) 示されたサイズの靴を最も多く買うという考えが適切ではない理由を、グラフを基に説明する【資料の活用】
 5 (2) 示されたサイズの靴が貸し出された回数の、相対度数を求める式を立てる【資料の活用】
 6 (2) 文字を使って、数当てゲームの手順通りに求めた数から最初に決めた数を当てる方法を説明する【数と計算】

課題の ある問題例

- 5 (2) 示されたサイズの靴が貸し出された回数の、相対度数を求める式を立てる【資料の活用】

正答率
26.0%

あるボウリング場では、貸し出し用の靴をすべて新しいもの買い替えようとしています。そのために、貸し出し用の靴の総数や、過去1か月間に靴が貸し出された回数について調べました。

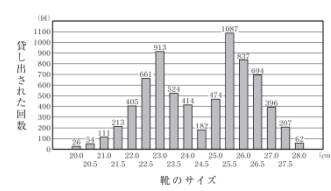
右のグラフから、例えば、23.5cmの靴は524回貸し出されたことがわかります。

調べたことをもとに、どのサイズの靴を何足買うかを考えます。

25.5cmの靴を何足買うかを考えるために、25.5cmの靴が貸し出された回数の相対度数を求めます。その相対度数を求める式を書きなさい。ただし、実際に相対度数を求める必要はありません。

調べたこと

- 貸し出し用の靴の総数 200 足
- 貸し出された回数の合計 7260 回
- 貸し出された靴のサイズの平均値 24.5 cm
- 靴のサイズごとの貸し出された回数のグラフ



<無解答率>

- ・38.4%であり、B問題の中で2番目に高い。

9年間の視点

<小学校からのつながり>

- ・割合の意味とその表し方を理解する。(小5)

<中学校で身につけさせたい力>

- ・相対度数の意味と式の表し方について理解する(中1)
- ・ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向を捉える(中1)

<正答の条件>

- ・「 $1087 \div 7260$ 」と解答する。
- ・「0.15」など、 $1087 \div 7260$ を計算して相対度数を解答する。

<多く見られた誤答例>

- ・「 $25.5 \div 1087$ 」など、必要な情報の選択を誤っている。
- ・「 $7260 \div 1087$ 」など、相対度数が全体に対する部分の割合であることを理解していない。

本課題の改善策については、
「指導の改善策」 P73へ

4 学習習慣・生活習慣の概要

(1) 質問項目の分類の考え方

児童生徒に対する質問紙調査の全85の質問項目について、国立教育政策研究所の報告書では、質問項目を11に分類していますが、この国立教育政策研究所の分類と3つのカテゴリーとの関連付けを図り、下の表のように整理しました。

カテゴリー	国立教育政策研究所の分類	質問番号
① 授業改善	○学習に対する関心・意欲・態度	(28)(44)(45)(46)(61)(62)(63)(65)(66)(67)(68)(69)(70)(71)(72)(73)(74)(75)(76)(77)(78)(79)(80)(81)(82)(83)(84)(85)
	○学習状況	(7)(8)(33)(47)(48)(49)(50)(51)(52)(53)(54)(55)(56)(57)(58)(59)(60)
	○社会に対する興味・関心	(35)(36)(37)(38)
② 落ち着いた学習環境づくり	○学校生活等	(26)(27)(29)(30)(31)
	○規範意識	(39)(40)(41)(42)(43)
③ 望ましい習慣づくり	○学習時間等	(14)(15)(16)(17)(18)(21)(22)(23)(24)(25)(64)
	○基本的生活習慣	(1)(2)(3)(10)(11)(12)(13) [※]
	○将来に関する意識	(9)
	○自尊意識	(4)(5)(6)(32)
3つのカテゴリーに当てはまらない項目		
その他	○家庭でのコミュニケーション等	(19)(20)
	○地域との関わり	(34)

※(11)(12)(13)については、「④ メディアとの接触時間」としました。

(2) 分析の観点とクロス集計

質問項目に「している」「どちらかといえばしている」など、肯定的な回答をした児童生徒の割合が80%以上のものを「肯定的な回答が高い割合を示した質問項目」とし、肯定的な回答をした児童生徒の割合が60%未満のものを「肯定的な回答が低い割合を示した質問項目」として整理しました。

また、平成26年度から今年度までの3年間の本調査結果を経年比較し、肯定的な回答の割合が年を追うごとに増加しているものを「肯定的な回答が増加傾向にある質問項目」とし、肯定的な回答の割合が年を追うごとに減少しているものを「肯定的な回答が減少傾向にある質問項目」として整理しました。

学力と学習状況・生活習慣については、教科に関する調査の結果と児童生徒質問紙調査の結果との相関関係の分析を行いました。相関関係の分析に当たっては、教科に関する調査結果における正答数の多い児童生徒（U層）とそれ以外の児童生徒（E層）の質問紙調査の回答状況を比較し、その違いについて検討しました。

(3) 旭川の子どもたちの概況

小 学 校

◇好きな授業があるよ！（94.2%）
◇話し合いでは、友達の意見をしっかり最後まで聞くよ！（93.6%）

◇家で宿題に取り組んでいるよ！（96.0%）



◇学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがあるよ！（87.3%）
◇学級のきまりは友達同士で話し合って決めているよ！（85.7%）

◇学校へ行くのが楽しい！（84.9%）
◇友達に会うのが楽しい！（96.0%）



□予習をしていますか（55.0%）
□自分とは異なる意見も生かしながらか話し合っていますか（59.5%）

中 学 校

◇友達に会うのが楽しい！（94.3%）
◇人の役に立ちたい！（93.7%）

◇最後までやり遂げてうれしかったことがあるよ！（94.3%）

◇話し合いでは、友達の意見をしっかり最後まで聞くよ！（93.3%）



◇友達との約束を守っているよ！（97.6%）

◇国語の勉強は大切だ！（89.6%）
◇数学ができるようになりたい！（91.7%）



□予習をしていますか（34.6%）
□自分の考えや意見を発表することは得意ですか（50.8%）

(4) 小学校

①「授業改善」について

分析結果

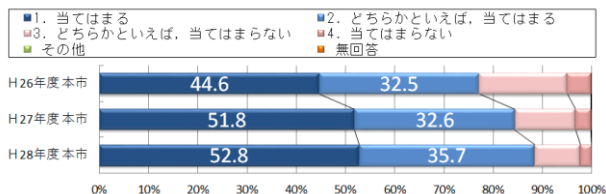
- 49質問項目中、24項目において肯定的な回答が高い割合を示し、肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 3年間の経年比較では、28項目において肯定的な回答が増加傾向にあり、1項目「調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)」において肯定的な回答が減少傾向にありました。しかし、この項目は、難しい問題にも諦めずに最後まで粘り強く取り組めるようになってきたとも考えられます。
- 正答数の多い児童は、授業の中で分からないことがあると、授業後に先生に尋ねたり、自分で調べたりする割合が高い傾向にあります。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目(例)

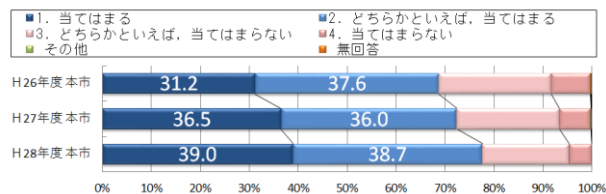
- 学校で、好きな授業がありますか(94.2%)
- 授業の内容はよく分かりますか(国語:83.9%, 算数:80.1%)
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか(93.6%)
- 5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか(87.5%)

肯定的な回答の割合が増加傾向にある質問項目(例)

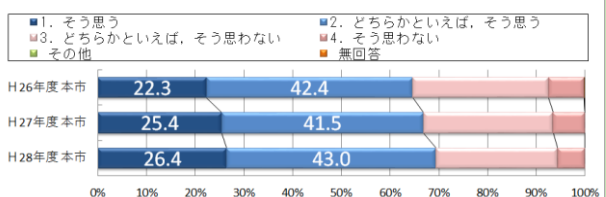
- 小学校5年生のときに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか



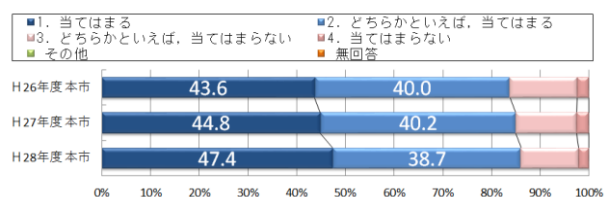
- 小学校5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか



- 児童の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



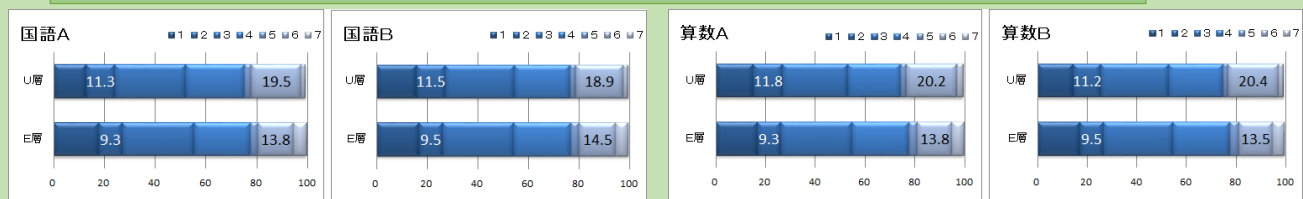
- 5年生までに受けた授業では、児童の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



正答数の多い児童(U層)とそれ以外の児童(E層)とのクロス集計

- 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか

- 1 その場で先生に尋ねる
- 2 授業後に先生に尋ねる
- 3 友達に尋ねる
- 4 家の人尋ねる
- 5 塾の先生に尋ねる
- 6 自分で調べる
- 7 そのままにする



詳細は、「指導の改善策」P101へ

②「落ち着いた学習環境づくり」について

分析結果

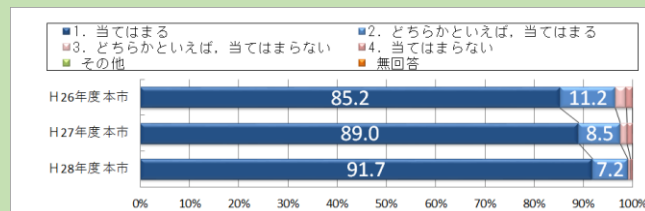
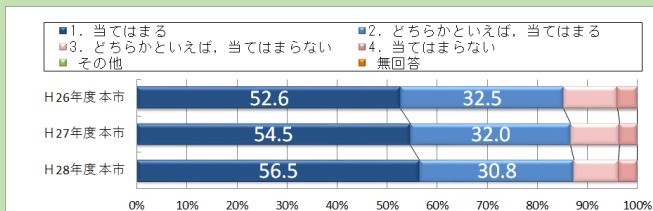
- 10質問項目中、9項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、1項目「学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」において肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、4項目において肯定的な回答が増加傾向にあり、肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目（例）

- 学校に行くのは楽しいと思いますか（84.9%）
- 学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか（96%）
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（98.9%）

肯定的な回答の割合が増加傾向にある質問項目（例）

- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



詳細は、「指導の改善策」P115へ

③「望ましい習慣づくり」について

分析結果

- 14質問項目中（※）、7項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、1項目「家で、学校の授業の予習をしていますか」において肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、6項目において肯定的な回答が増加傾向にあり、肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。

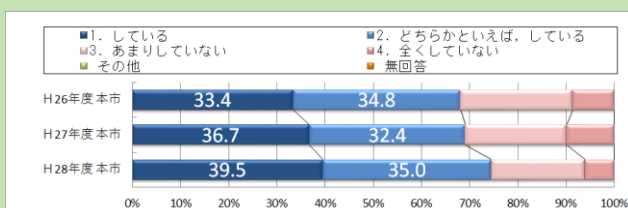
肯定的な回答が高い割合を示した質問項目（例）

- 家で、学校の宿題をしていますか（96%）
- 朝食を毎日食べていますか（94.3%）
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか（94.4%）

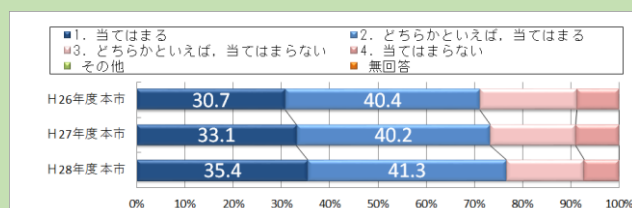
※ このカテゴリーに該当する質問項目は23項目ありますが、9項目の回答については、時間を選択肢から選ぶことになっており、「肯定的」か否かという観点から整理できない質問項目となっているため、それらを除き、14質問項目としています。

肯定的な回答の割合が増加傾向にある質問項目（例）

- 家で、学校の授業の復習をしていますか



- 自分には、よいところがあると思いますか



詳細は、「指導の改善策」P119へ

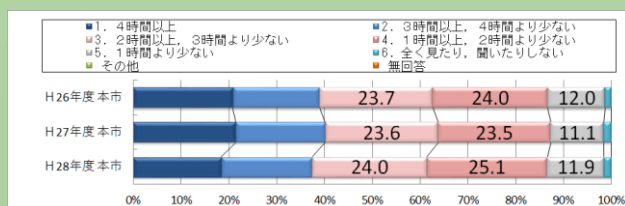
④「メディアとの接触時間」について

分析結果

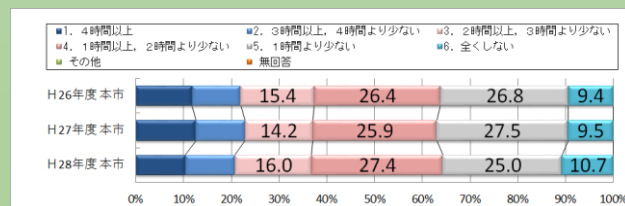
- メディア接触時間にかかわる2質問項目について、3年間の経年比較ではやや改善の傾向にあります。しかし、1項目「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）」については、使用時間が増加傾向にあります。
- 正答数の多い児童（U層）は、テレビゲームをする時間は短い傾向にあり、それ以外の児童（E層）は1日当たり2時間以上使用している割合は高い傾向にあります。また、正答数の多い児童は携帯電話やスマートフォンの使用時間が短い傾向にあります。

メディア接触時間の経年変化（例）

普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く）

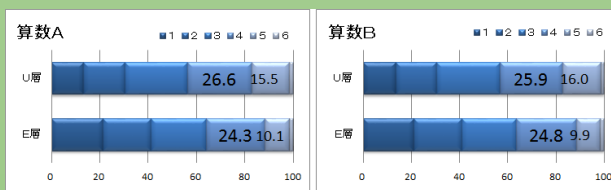
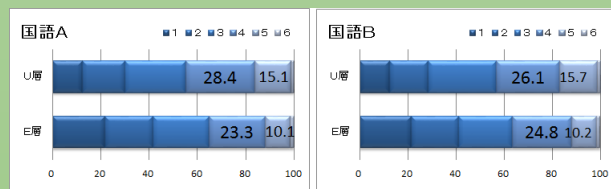


普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

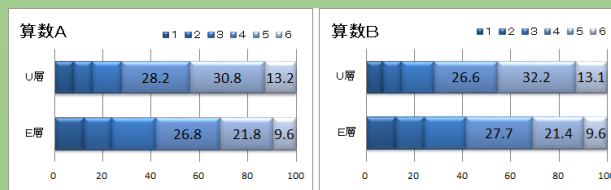
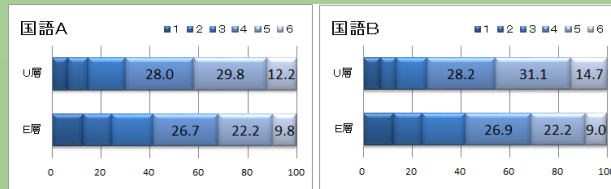


正答数の多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計（例）

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 4時間以上 | 2 3時間～4時間 |
| 3 2時間～3時間 | 4 1時間～2時間 |
| 5 1時間より少ない | |
| 6 全く見たり、聞いたりしない | |



- | | |
|------------|-----------|
| 1 4時間以上 | 2 3時間～4時間 |
| 3 2時間～3時間 | 4 1時間～2時間 |
| 5 1時間より少ない | 6 全くしない |



詳細は、「指導の改善策」P130へ

(5) 中学校

①「授業改善」について

分析結果

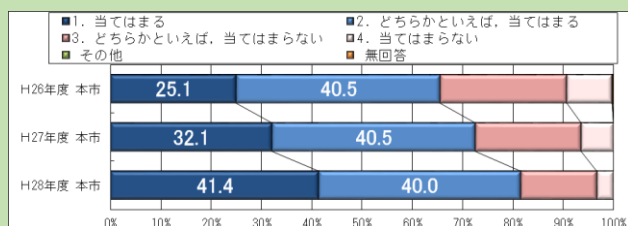
- 49質問項目中、10項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、1項目「学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」において肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、22項目において肯定的な回答が増加傾向にあり、1項目「数学の勉強は好きですか」において肯定的な回答が減少傾向にありました。
- 正答数の多い生徒は、授業の中で分からないことがあると、授業後に先生に尋ねたり、自分で調べたりする割合が高い傾向にあります。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目（例）

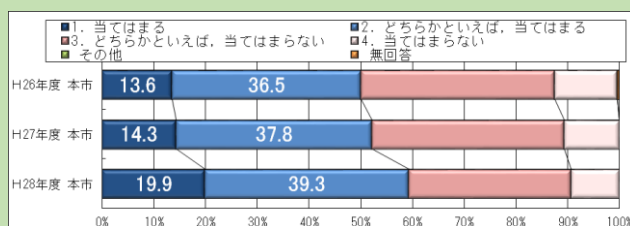
- 学校で、好きな授業がありますか（82.4%）
- 勉強は大切だと思いますか（国語：89.6%，数学：80.8%）
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか（93.3%）
- 1. 2年生のときに受けた授業では自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか（85.0%）

肯定的な回答の割合が増加傾向にある質問項目（例）

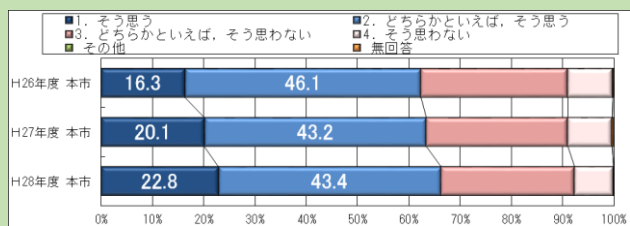
- 1. 2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか



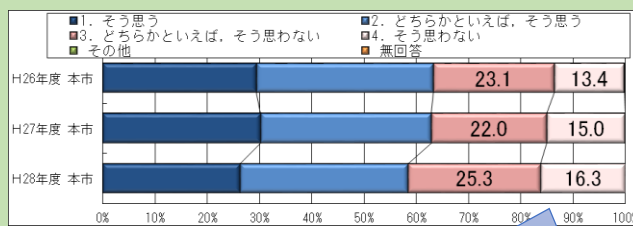
- 1. 2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか



- 生徒で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



- 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか

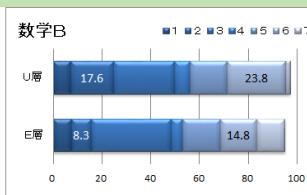
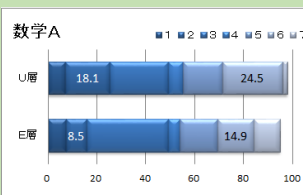
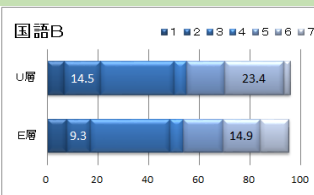
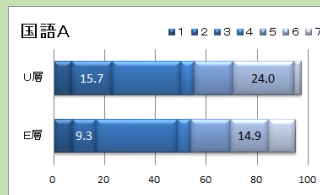


正答数の多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

- 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか

- 1 その場で先生に尋ねる
- 2 授業後に先生に尋ねる
- 3 友達に尋ねる
- 4 家の人尋ねる
- 5 塾の先生に尋ねる
- 6 自分で調べる
- 7 そのままにする

※「難しいと思うか」という質問に対し「そう思わない」「どちらかといえば そう思わない」との回答を「肯定的な回答」と判断



詳細は、「指導の改善策」P135へ

②「落ち着いた学習環境づくり」について

分析結果

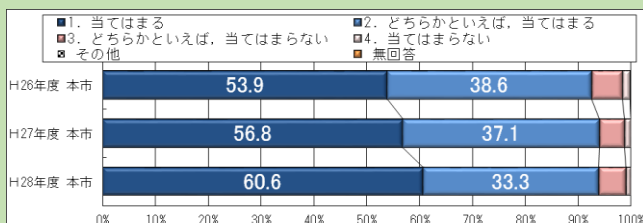
- 10質問項目中、7項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、1項目「学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」において肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、2項目において肯定的な回答が増加傾向にあり、肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目（例）

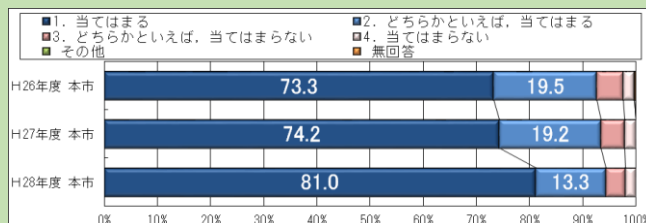
- 学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか（94.3%）
- 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか（84.6%）
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（94.3%）

肯定的な回答の割合が増加傾向にある質問項目

- 学校の規則を守っていますか



- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



詳細は、「指導の改善策」P146へ

③「望ましい習慣づくり」について

分析結果

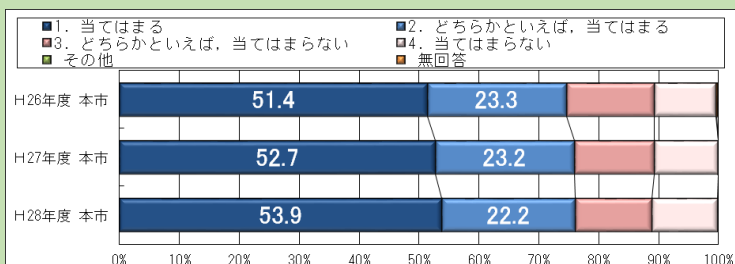
- 14質問項目中（※）、3項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、3項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3年間の経年比較では、1項目「読書は好きですか」において肯定的な回答が増加傾向にあり、2項目において肯定的な回答が減少傾向にありました。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目（例）

- 家で、学校の宿題をしていますか（88.1%）
- 朝食を毎日食べていますか（92.2%）
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか（94.3%）

肯定的な回答の割合が増加傾向にある質問項目（例）

- 読書は好きですか



※このカテゴリーに該当する質問項目は23項目ありますが、9項目の回答については、時間を選択肢から選ぶことになっており、「肯定的」か否かという観点から整理できない質問項目となっているため、それらを除き、14質問項目としています。

詳細は、「指導の改善策」P149へ

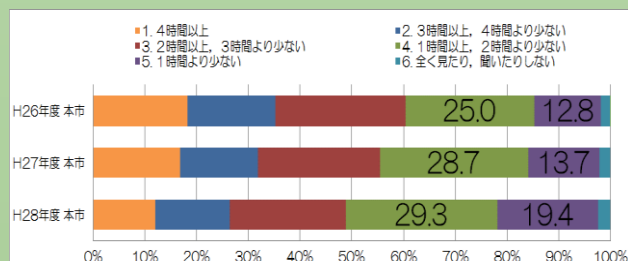
④「メディアとの接触時間」について

分析結果

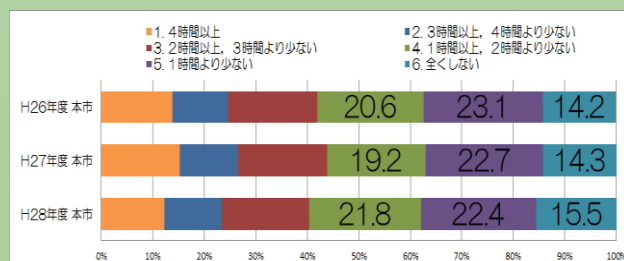
- メディア接触時間にかかわる3質問項目について、3年間の経年比較では全てやや改善傾向にあります。
- 正答数の多い生徒（U層）はテレビゲームをする時間が短い傾向にあり、それ以外の生徒（E層）は、1日当たり2時間以上使用している割合が高い傾向にあります。また、正答数の多い生徒は携帯電話やスマートフォンの使用時間が短い傾向にあります。

メディア接触時間の経年変化（例）

普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く）

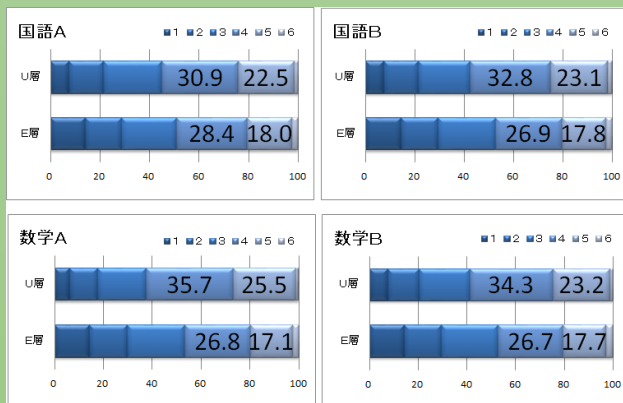


普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）

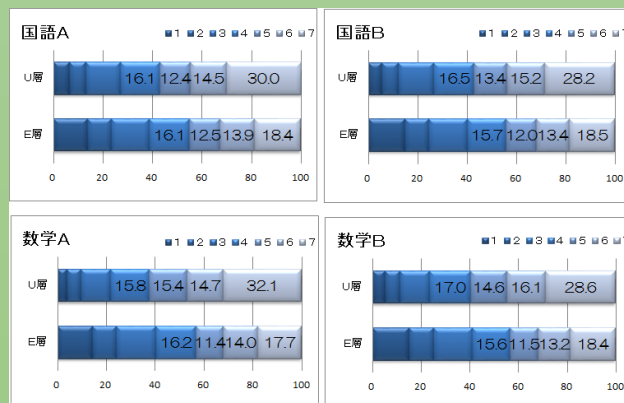


正答数の多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

- 1 4時間以上 2 3時間～4時間
3 2時間～3時間 4 1時間～2時間
5 1時間より少ない 6 全く見たり、聞いたりしない



- 1 4時間以上 2 3時間～4時間
3 2時間～3時間 4 1時間～2時間
5 1時間～30分 6 30分より少ない
7 持っていない



詳細は、「指導の改善策」P160へ

5 おわりに

本報告書は、「概要」と「指導の改善策」で構成しており、「概要」で示した課題に対する改善の方策を「指導の改善策」として整理しました。また、9年間で身に付けさせたい力を明らかにするなどの小中連携の視点やアクティブ・ラーニングの視点も加えました。

各学校においては、本報告書に記載したこれらの視点等も踏まえ、自校の結果を分析し改善策を明らかにした上で、保護者等に説明責任を果たすとともに、組織的・計画的に児童生徒一人一人の学力向上を図ることが大切です。

教育委員会といたしましても、各学校の取組に対し、引き続き、必要な指導・助言や支援に努めてまいります。

なお、この度作成しました「指導の改善策」については、旭川市教育研究会国語科研究部及び算数数学科研究部、自校において学力向上を担当している先生方で構成した旭川市授業力向上プロジェクトの各チームに御協力いただき、より旭川市の児童生徒の実態を踏まえた報告書となっております。

作成に御協力いただいた旭川市教育研究会及び各チームの皆様には心から感謝申し上げます。

【「指導の改善策」作成協力者】

旭川市授業力向上プロジェクト 国語チーム

委員長：菅原 整（陵雲小校長）
副委員長：石ヶ森 孝順（日章小教頭）
委員：河村 知泰（広陵中主幹教諭）
石川 憲一（大有小教諭）
石塚 大輔（旭三小教諭）
小泉 幸男（北光小教諭）
渡辺 恭平（高台小教諭）
穴吹 竜也（東陽中教諭）
北 真紀（東光中教諭）
木村 智美（忠和中教諭）
久世 隆治（北門中教諭）

算数・数学チーム

委員長：田中 義彦（神楽中校長）
副委員長：千葉 雅樹（嵐山中教頭）
委員：高綱 智美（明星中主幹教諭）
関 未貴（豊岡小教諭）
武田 要（緑新小教諭）
長瀬 剛仁（近文小教諭）
萬宮 淳（愛宕小教諭）
岡田 哲（緑が丘中教諭）
沼澤 和範（中央中教諭）
谷地元直樹（永山南中教諭）

学習習慣・生活習慣改善チーム

委員長：辻並 浩樹（中央中教頭）
副委員長：佐藤 美鶴（東栄小教頭）
委員：齋藤 知尋（愛宕東小主幹教諭）
榊本 智史（西御料地小主幹教諭）
太田 貴幸（新町小教諭）
上原 丈典（北星中教諭）
中村 智美（東明中教諭）
松尾 聡（明星中教諭）



（敬称略、職名は平成28年10月現在）

